

# 関ヶ谷自治会防災訓練開催

# 防災だより

第22号  
平成30年11月15日発行  
関ヶ谷自治会 防災部  
防災ボランティアグループ

※防火チーム  
※情報・通信・電機チーム  
※医療・介護チーム  
※食糧・物資チーム  
※防災資機材取扱チーム

自治会館 784-4447



9月22日土曜日、午前9時、震度5強の地震が発生”と想定し、全世帯の住民の安否確認行動と自治会館での災害対策本部の立ち上げ訓練をしました。

この訓練は自治会役員と地区長と班長として防災ボランティアグループが協力し合い、関ヶ谷地区の全住民を対象とした訓練でした。皆様のご理解とご協力を頂き、ケガ人や体調不良者もなく、無事終了できましたことに御礼を申し上げます。

当自治会では、白いタオルを門扉や玄関扉に掛ける”という行動

で、大きな災害が発生した時に住民と班長がお互いの安否を確認し合い、更に地区長が全帯の状況を把握し報告する訓練をしています。実際に大地震が発生した場合、自宅内で家具の転倒や落下物、家屋の損壊や負傷し生命に危険が及ぶ可能性があります。

高齢者世帯や車椅子も増加する中で、安否を確認し合い、早期に助け合う行動につなげることは素晴らしいと考えます。

今回の訓練でタオルを掛けた世帯は、72軒(1109軒中、3軒(1109軒中、

## 防災担当役員 賛同 執事

突然の強烈な揺れに目を覚ます。時刻は午前3時12分。口180人の小さな町だ。ご多から物は落ちる。重なり本棚が倒れる。生きた心地のしない恐怖の数分間を過ごす。

9月6日、筆者の生まれ故郷を襲った震度6強の大地震。7を記録した厚真町に隣接する安平町だ。大勢の犠牲者を出した厚真町に比べれば、被害は幾分か小さかったものの、家中は転倒した家具や散乱する家財道具で足の踏み場もない状態。友人たちに訊いた発生時の様子である。

65・2%でした。タオルを掛けていない場合は、インターフォンで声を掛け安否確認し、応答ありが254軒でした。訓練においては、タオルやインターフォンのお守りがない場合は、お留守と捉えられています。実際に災害発生時に安否確認できない場合に自治会や住民がどのような対応や行動をすべきか、今後の検討課題ではないでしょうか？

先日、目にした『よこはま地震防災市民憲章』の一文に、大地震は必ずややってきます。その時、行政からの支援はすぐには届きませんと書かれていました。災害発生時、直ちに公助である行政が期待できないのであれば、住民の一人ひとりが自

安草町の中でも安草地区は人口180人の小さな町だ。ご多から物も落ちる。重なり本棚が倒れる。生きた心地のしない恐怖の数分間を過ごす。

9月6日、筆者の生まれ故郷を襲った震度6強の大地震。7を記録した厚真町に隣接する安平町だ。大勢の犠牲者を出した厚真町に比べれば、被害は幾分か小さかったものの、家中は転倒した家具や散乱する家財道具で足の踏み場もない状態。友人たちに訊いた発生時の様子である。

握はすぐには届きませんと書かれていました。災害発生時、直ちに公助である行政が期待できないのであれば、住民の一人ひとりが自助・共助、公助とも機能したように期待される。

10月7日現在、復興には程遠い状態だが、日ごろの訓練の成果は随所に見られたという。死者なし。けが人も軽傷者だけに止まった。万が一備えた訓練が役立つ日が来ることが望ましい。とはいえない。毎日頃から防災意識を持って生活したいものだ。当関ヶ谷自治会でも、あらゆる想定の下で訓練を行うべく必要があることを再認識した。

安平町の中でも安草地区は人口180人の小さな町だ。ご多から物も落ちる。重なり本棚が倒れる。生きた心地のしない恐怖の数分間を過ごす。

9月6日、筆者の生まれ故郷を襲った震度6強の大地震。7を記録した厚真町に隣接する安平町だ。大勢の犠牲者を出した厚真町に比べれば、被害は幾分か小さかったものの、家中は転倒した家具や散乱する家財道具で足の踏み場もない状態。友人たちに訊いた発生時の様子である。

自助・共助、公助とも機能したように期待される。

10月7日現在、復興には程遠い状態だが、日ごろの訓練の成果は随所に見られたという。死者なし。けが人も軽傷者だけに止まった。万が一備えた訓練が役立つ日が来ることが望ましい。とはいえない。毎日頃から防災意識を持って生活したいものだ。当関ヶ谷自治会でも、あらゆる想定の下で訓練を行うべく必要があることを再認識した。

安平町の中でも安草地区は人口180人の小さな町だ。ご多から物も落ちる。重なり本棚が倒れる。生きた心地のしない恐怖の数分間を過ごす。

9月6日、筆者の生まれ故郷を襲った震度6強の大地震。7を記録した厚真町に隣接する安平町だ。大勢の犠牲者を出した厚真町に比べれば、被害は幾分か小さかったものの、家中は転倒した家具や散乱する家財道具で足の踏み場もない状態。友人たちに訊いた発生時の様子である。

自助・共助、公助とも機能したように期待される。

10月7日現在、復興には程遠い状態だが、日ごろの訓練の成果は随所に見られたという。死者なし。けが人も軽傷者だけに止まった。万が一備えた訓練が役立つ日が来ることが望ましい。とはいえない。毎日頃から防災意識を持って生活したいものだ。当関ヶ谷自治会でも、あらゆる想定の下で訓練を行うべく必要があることを再認識した。

安平町の中でも安草地区は人口180人の小さな町だ。ご多から物も落ちる。重なり本棚が倒れる。生きた心地のしない恐怖の数分間を過ごす。

9月6日、筆者の生まれ故郷を襲った震度6強の大地震。7を記録した厚真町に隣接する安平町だ。大勢の犠牲者を出した厚真町に比べれば、被害は幾分か小さかったものの、家中は転倒した家具や散乱する家財道具で足の踏み場もない状態。友人たちに訊いた発生時の様子である。

自助・共助、公助とも機能したように期待される。

10月7日現在、復興には程遠い状態だが、日ごろの訓練の成果は随所に見られたという。死者なし。けが人も軽傷者だけに止まった。万が一備えた訓練が役立つ日が来ることが望ましい。とはいえない。毎日頃から防災意識を持って生活したいものだ。当関ヶ谷自治会でも、あらゆる想定の下で訓練を行うべく必要があることを再認識した。

平成30年9月8日「池上彰と自然災害大団日本の防災を考えよう危機管理能力チェック今どきの40連発」がTVにて放映されました。あなたはいくつ正解出来ますか？ 提供者 服部典夫

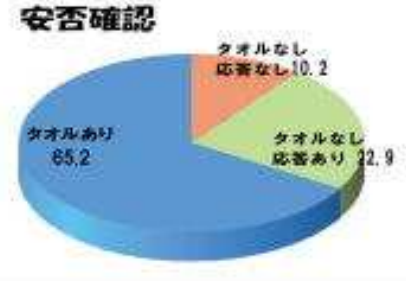
Q1 家の中で地震発生、比較的 안전한場所は  
Q2 地震が発生した瞬間、子供と離れていたら  
Q3 巨大南海トラフ地震、発生確率は(30年以内)  
Q4 倒れる可能性が高い危険なブロック塀は  
Q5 海の近くで地震発生、津波から逃げるには  
Q6 大きな地震の時一時的に避難するならどこ

A: トイレ B: 玄関  
A: 子供の安全を確認 B: 自分の安全を優先  
A: 50~60% B: 70% C: それ以上  
A: 高さが2m B: 石垣の上にある  
A: 近くのビルの上へ B: 遠くへ 離れる  
A: コンビニ B: 商店 C: ガラススタンド  
答えは裏に

### 関ヶ谷自治会防災訓練 安否確認集計表 平成30(2018)年9月22日

地区	班数 (ブロック数)	全世帯数 (非会員含む)	会員 世帯数	家族 合計数	在宅者 数	タオル あり	タオルなし		訓練 確認 世帯数
							応答あり	応答なし	
ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ=キ+ク+ケ
H30年度	93	1,109	1,018	2,071	1,470	723	254	113	1,090
	***	***	***	1.9	1.3	65.2	22.9	10.2	98.3
H29年度	***	***	***	***	***	737	173	148	1,058
						前年度比	98.1	146.8	76.4

※1. オの1.9人は世帯当たりの人数  
※2. カの1.3人は世帯当たりの在宅者当りの人数  
※3. キ・ク・ケのパーセントはウの全世帯数が分母  
※4. 前年度比のパーセントはキ・ク・ケの件数比率



クイズ

# そなエリアで災害体験！

防災VG代表 徳岡 正彦

**防災・防災活動の一端**  
 として、防災体験を兼ねた学習会を10月4日実施し、24名が参加しました。

またこの日、王座農産物産直会が主催する「緊急避難訓練」が実施されました。この場所は、おなじみのそなエリアです。この場所が、災害発生時の避難場所として活用されることを目指しています。

「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。

「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。

「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。

「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。



「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。

北海道地震の報道など、災害発生が身近になってきていると感じられる。状況の異なる現場で自分ごととして考え、自分自身の防災意識がどれだけ高まっているかを問うのがあった。

**72時間をどう生き残るか?**  
 12-1 奥村 博之

一人ひとり個別の質問が表示されるタブレットを持ち、回答しながら体験学習していくのである。映像プログラムと比較



**消防訓練に参加して**  
 1-4 高橋 寛司

たまたま、家の前で消防訓練をするというので、5才の息子と二歳に年少して参加しました。思っていたよりも大勢の方が参加する感度の高いイベントで驚きました。

訓練は、マンホールを開けてスタンドパイプをかける人（女性でも兼にできます）、スタンドパイプにホースを繋ぎ伸ばす人、簡先を持って放水する人の3人1組で行いました。

簡先は小さい子供もいるので、簡先を担ぎさせて頂き、放水しましたが予想よりも放水の反動などは無く、子供もおっかなびっくりでしたが楽しんで放水していました。

こういうものが自分の家の近くにあることは、とても安心出来、自治体の取り組みとしてはとても良い事だと思います。ただ、スタンドパイプをおいてある場所が、自治会館などのほらちょっと遠いを思いました。

簡先あまり会う機会が無い、ご近所の方々ふれあう機会がもてたことがとても有意義でした。

「防災体験・クイズラリー」  
 「防災体験・クイズラリー」は、防災に関する知識を深め、いかに対応するか「クイズラリー」で、関東大震災・東日本大震災の被害を体験し、避難の重要性を学びました。

**第2回「関ヶ谷子供会」(青少年部)との「焼き出し訓練」**  
 食事調理班チーム、乙川 さよ子

★8月21日(火) 10:13時  
 関ヶ谷自治会館  
 ★参加者は子供会からお母さん20名、7名  
 食料物資チームから9名

「耐熱用のポリ袋」を使った今回のメニューは  
 ①カレーライス(①無洗米湯煎で炊く、②野菜チキン缶詰ナレトルトカレー)  
 ②白玉団子(①白玉粉をよねて団子十個作ったお湯で茹であずき缶を湯煎、初めてのレシピでしたが、作るまで食べても母さんと子供さんたちにもなかなかの好評でした。

これからも「耐熱用のポリ袋」で色々なメニューを考へて行きたいと思っています。

**消防訓練に参加して**  
 1-4 高橋 寛司

たまたま、家の前で消防訓練をするというので、5才の息子と二歳に年少して参加しました。思っていたよりも大勢の方が参加する感度の高いイベントで驚きました。

訓練は、マンホールを開けてスタンドパイプをかける人（女性でも兼にできます）、スタンドパイプにホースを繋ぎ伸ばす人、簡先を持って放水する人の3人1組で行いました。

簡先は小さい子供もいるので、簡先を担ぎさせて頂き、放水しましたが予想よりも放水の反動などは無く、子供もおっかなびっくりでしたが楽しんで放水していました。

こういうものが自分の家の近くにあることは、とても安心出来、自治体の取り組みとしてはとても良い事だと思います。ただ、スタンドパイプをおいてある場所が、自治会館などのほらちょっと遠いを思いました。

簡先あまり会う機会が無い、ご近所の方々ふれあう機会がもてたことがとても有意義でした。

**今** 回初めて参加させていただきました。焼き出し訓練に美味しくいただきました。ありがとうございました。具も肉の代わりにツナ缶を使い、これがポイントです。使った調理、非常時、また、缶詰も保存がきくものですか有効ガス、電気、水道が使えなくなった時、この、だと感じました。もう一つの利点はポリ袋なので洗いが簡単で洗剤も必要ありません。トされる、すなわち節水に役立ちます。

**ポリ袋で作る、お料理体験記**  
 青少年部 藤枝 理絵

今回のイベントで学ばせて頂いたことを忘れず、月一回でも焼き出し訓練を使って色々なメニューにチャレンジしたいと思います。もちろんとっかかり火が通っていました。貴重な体験をありがとうございました。

**クイズの答**

Q1	B	Q4	B
Q2	B	Q5	A
Q3	C	Q6	C

**今後の活動予定**

- 定例会議：毎月第1週の月曜日 防災会議
- 定例会議：毎月第1週の火曜日 防災VG役員会
- 11月24日(土) 地域防災拠点 防災訓練/ハール
- 12月 1日(土) 地域防災拠点 防災訓練
- 次回の防災だより 2月15日予定

**2019年1月19日(土)防災VG定期総会**

